(4) Delivery date : according to the bid explanation form.
(5) Delivery place : according to the bid explanation form.
(6) Qualification for participating in the tendering procedures : None of the following items pertain to the prospective participant(s).
(a) persons against whom a judgment of incompetency or quasi-incompetency has been made.
(b) persons who have declared bankruptcy and are unable to be reinstated.
(c) persons who in the performance of their contract(s), manufactured products in bad faith, were crude in carrying out service, or were responsible for dishonest conduct in connection with product quality or quantity.
(d) persons who have wrongfully allied themselves for the purpose of forcing the bid up or down.
(e) persons who have obstructed bid participation, or completion or performance of a contract.
(f) persons who have obstructed inspection or supervision conducted by the members of this company.
(g) persons whose conduct has been wrongful or dishonest, who have caused an accident because of such conduct, or who otherwise lack honor and sincerity in their conduct.
(h) persons who are presently in dispute with this company without justifiable cause.
(i) persons who are presently delaying the discharge of their contractual duties.
(j) persons who have had an unsatisfactory achievement record in the past.
(k) persons who have failed without justifiable cause to discharge their contract.
(l) persons who have made false declarations in connection with competition procedure(s) or contractual performance.
(m) persons who use anyone falling into any of the above categories as their representative at the competition or as a representative, manager or other employee at the time of a contract.
(7) The tenderer must have established assets and public confidence, and in addition the tenderer must have good professional technique and equipment.
(8) The tenderer must have a substantially long established business showings in production or sale of the goods which West Japan Railway Company (here in after referred to as the "Company") requires or the goods similar thereto.
(9) The products must be of good quality and reasonably priced, and satisfying the requirements of quality and appointed time of delivery must be assured.
(10) The tenderer should be able to meet the Companys demands smoothly for a long period of time.
(11) The tenderer should be able to render positive co-operation with the Company in a form such as training that the Company specifies, technical assistance, after-delivery servicing, repairing and supplying necessary parts.
(12) Submitted proposal specifications must satisfy the level of the specification book that the Company provides.
(13) Time-limit for Tender : 14 : 00　20, Dec, 2013.
(14) Contact point for the notice : Kazuhiro Fukada Purchasing & Stores, Finance Dept. West Japan Railway Company 2—4—24 Shibata Kita-ku, Osaka-shi 530—8341 Japan. TEL 06—6375—8984

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成 25 年 10 月 29 日
支出負担行為担当官
近畿地方整備局長　池内　幸司
◎調達機関番号　020　◎所在地番号　27

○第１号

1　工事概要
(1) 品目分類番号　41
(2) 工事名　大津信楽線左岸部道路整備工事（電子入札対象案件）
(3) 工事場所　滋賀県大津市上田上牧町地先
(4) 工事内容　盛土　41,600㎥、高盛土対策工（補強材敷設）2,480㎡、地盤改良（浅層・中層混合）4,950㎥、補強土壁　470m、アスファルト舗装　9,000㎡
(5) 工期　契約締結日の翌日から平成27年11月30日まで。
(6) 使用する主要な資機材
鉄筋　107ｔ、コンクリート　2,370㎥、アスファルト合材　1,130ｔ
(7) 本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式及び契約締結後に施工方法等の提案（総合評価に係る提案を除く。）を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。
(8) 本工事においては、中間前金払に代わり、既済部分払を選択した場合には、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施する「出来高部分払方式」を採用する。
(9) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
(10) 本工事は、競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出及び入札を電子入札システムで行う対象工事である。
なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。
(11) 本工事は、受発注者間の双務性の向上とともに、契約変更等における協議の円滑化を図るため、契約締結後、受発注者間の協議により総価契約の内訳として単価等を合意する「総価契約単価合意方式」の対象工事である。
単価等の合意にあたっては、単価等を個別に合意する方式（以下「単価個別合意方式」という。）によるものとするが、協議開始の日から14日以内に単価個別合意方式による協議が整わない場合は、単価を包括的に合意する方式である「単価包括合意方式」によるものとする。
なお、総価契約単価合意方式の実施の詳細については、「総価契約単価合意方式実施要領」及び「総価契約単価合意方式実施要領の解説」によるものとする。
(12) 本工事は、情報化施工技術（ＴＳによる出来形管理技術（土工））の使用原則化の対象工事である。
(13) 本工事は、工事実施にあたって不足する下請け等の技術者や技能者等を通常考える工事実施地域外から広域的に確保せざるを得ない場合に、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の一部の費用（以下「実績変更対象費」という。）について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。
2　競争参加資格
(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
(2) 近畿地方整備局における一般土木工事に係る一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、近畿地方整備局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。
(3) 近畿地方整備局における一般土木工事に係る一般競争参加資格の認定の際に客観的事項（共通事項）について算定した点数（経営事項評価点数）が1,200点以上であること（上記(2)の再認定を受けた者にあっては、当該再認定の際に、経営事項評価点数が1,200点以上であること。）。
(4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
(5) 平成10年度以降に元請として完成し、引渡しが完了した下記(ｱ)から(ｳ)までの要件をすべて満たす工事（発注機関は問わない。以下「同種工事」という。）の施工実績（以下「同種工事の実績」という。）を有すること（共同企業体構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。ただし、異工種建設工事共同企業体（以下「異工種ＪＶ」という。）等の乙型共同企業体構成員としての実績は、出資比率にかかわらず各構成員が施工を行った分担工事の実績に限る。また、事業協同組合構成員の実績は認められない。）。
(ｱ) 盛土量が10,000㎥以上の道路工事の施工実績を有すること。